

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570608893		
法人名	医療法人 鹿嶋医院		
事業所名	グループホーム お達者倶楽部		
所在地	秋田県男鹿市北浦北浦表町字表町52-2		
自己評価作成日	令和1年10月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和1年10月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人母体の医院と連携を図り、体調面で安心していただいております。また、リハビリを行い寝たきり防止に力を入れております。同法人のデイサービスと日常的に交流があり地元の方と関わることで喜んでいただいております。また、月に2回の外出や同法人のデイサービスとの合同食事会等行い、利用者様の気分転換になるような行事に力を入れております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

PTの指導による個別のリハビリを生活の中に取り入れて機能維持に繋げる取り組みを行っている他、入居してからも本人のこれまでの過ごし方を尊重した柔軟な支援が行われています。在宅時の知人が立ち寄ってくれることがあり、広い敷地内に併設されているデイサービス利用者との交流もあり、食事会や催事の際に一緒に参加して馴染みの関係もできています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 グループホーム お達者倶楽部	運営理念を玄関、事務所に掲示し職員がいつでも確認できるようになっています。	開所時に職員が話し合って決めた理念であり、年度初めにあらためて理念についての勉強会が行われています。日々のアセスメントを通じて、その人の生活リズムを大切にしたい支援が行われています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の美容室やホームセンターを利用し近隣の方と声を掛け合ったりしている仲である。また同法人のデイサービスを利用し日常的に交流がある。	近隣の方の来訪やデイサービス利用者との交流、また、地区の文化祭には毎年ホームのブースが設けられて参加しており、地域とは良好な関係が築かれています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	毎日の余暇活動で利用者様が作った作品を地域の文化祭に作品を出品している。事業所としてではなく法人全体として認知症カフェの場所提供や、啓蒙活動に努めております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では駐在所、民生委員、市議会議員等たくさんの方に参加していただき多角的に意見をいただきサービスの向上に努めている。	ホームの取り組みを報告し、その後の話し合いから得られる参加者からの情報がサービスの向上に活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にて行政の方に出席していただき積極的な意見交換をおこなっております。また、窓口に出向き連携を図っています。	地域ケア会議に毎回出席している他、市役所窓口には法人事務局だけでなく、管理者及び介護支援専門員が出向き、情報交換や相談に対応していただいています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内で身体拘束防止の勉強会やマニュアルの整備を行っております。施錠は夜間のみとしております。	勉強会で日々の業務で発生する疑問点について話し合い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。家族には拘束をしないことによるリスクを説明し、理解が得られるように努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で高齢者虐待防止の勉強会やマニュアルの整備を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	これまで権利擁護について学ぶ機会を持っていなかったため外部研修等学ぶ機会を設けていきたいと思っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明をし、理解・納得していただき捺印をいただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱の設置や毎月の利用料の請求書の送付と一緒に返信ハガキを同封しそこに意見・要望を記入していただいております。	請求書に同封されるはがきを活用したり、電話した時に意向を引き出すようにしており、要望に応えられるように取り組んでいます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや月1回のカンファレンスで全スタッフが意見交換できるようになっております。またSNSを活用し必要事項の周知や意見交換を行っております。	職員が主体となって意見を出し合っ業務に反映させる体制をとっている他、不定期ではあるものの職員とのヒアリングを実施する等、働きやすい環境づくりに努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者への正社員への登用の機会を確保し向上心を持って働けるよう取り組んでおります。また、各家庭環境に応じて勤務日の調整等を行い、できる限り働きやすい環境を作る努力をしております。有給休暇は年一人当たり平均15日前後となっております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に内部の勉強会を実施したり他施設への見学に行く機会を設け育成に努力しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県及び男鹿南秋地区の連絡会に加盟しており研修会や懇親会に参加し交流、ネットワークづくりに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを開始する前に本人の話をよく聞き入所後もコミュニケーションを図り安心を確保する関係作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始する前に家族より希望・要望等を確認しております。また入所後も面会時や電話連絡等でお互い情報を共有し家族とも家族のようになれるよう関係づくりに努めています。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりの得意なことを把握し長年培った知識と経験を教わる場面作りをし、家族の一員として重要と思ってもらえるよう支援しております。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は家族とゆっくりした時間を過ごせるようにしたり、近況報告等行い離れていても近くに感じられるように努めております。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚、友人等の面会の受け入れをしております。また、日常的に同法人のデイサービスと交流を図ることにより友人たちとのコミュニケーションをしております。	隣接するデイサービスには知人も利用していることから、催しへの参加を通じて交流できています。1人暮らしだった方が多く、墓参りには職員が同行することもあり、本人が大切に思っていることの継続支援に努めています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングで一緒に過ごせる時間を作り、会話や余暇活動、リハビリを行い孤立しないよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ長期入院や転居によりホームを退去した場合であっても関係者に情報提供するなど利用者本人の支えになれるよう努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中から利用者の希望を把握するよう努めております。本人からの確認が困難な場合は家族面会時に家族より希望等を聞き利用者本位となるように努めております。	利用者2人きりの時の会話や表情、行動から思いを汲み取るようにしており、情報を共有してホームでの生活に活かされています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントで家族や本人から聞き取りをするほか、日常のコミュニケーションを通じて把握できるように努めております。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の個人記録をもとに利用者一人ひとりの出来ること出来ないことの把握に努め日常の活動に繋がるようにしております。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様・家族の意向を踏まえ日々のミーティングやカンファレンスで意見を出し合っている。また、主治医とも連携を図りながら介護計画を立てている。	診療録やカンファレンスを通じて現状に即した介護計画を作成しています。家族への確認も行われています。	介護計画に基づいた記録を残すことでモニタリングや介護計画の見直しに効果的に繋げる工夫を期待します。
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録は職員がわかりやすくするため重要などところのみを記録しております。また、申し送りノートやSNSを活用し情報共有しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの慰問や地域の文化祭への作品の出品を行い地域資源の活用・協力を得ながら支援を行っております。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	9名それぞれ馴染みのある機関を利用しています。また法人母体の医院には24時間連絡ができる体制が整っております。近隣の薬局にも気軽に相談できるようになっており、希望があれば訪問歯科の受け入れ態勢も整っております。	入居後に運営母体の医院に変更した方もおりますが、入居前からの医療機関で継続受診している方もおり、個々の希望に応じた支援が行われています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の配置はないが、法人内の看護師に気軽に相談できる体制が整っております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際には経過等について医療機関との情報交換を家族や面会を通じて行っております。また、当法人の医院を利用されている方は本人、家族の意向を聞き医師同士での連絡調整も行っております。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	希望があれば主治医と相談しながらケアに当たっております。また、看取り同意書には十分な説明をし納得してもらい同意していただいております。	これまでもホームで看取りを行っており、対象者がいる場合は宿直職員を配置し、緊急時の態勢をとり、終末期の支援が行われています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内で急変時や事故発生時のマニュアルがあり、職員いつでも確認できるようになっております。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事業所内に災害時マニュアルがあり、職員いつでも確認できるようになっております。また、日中だけでなく夜間想定避難訓練も実施しております。	訓練には近隣の方も参加して行っています。デイサービスの建物と併せて近隣住民の避難場所となれることを運営推進会議を通じて伝えていきます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーやプライドを損ねないよう利用者一人ひとりに合わせたわかりやすい声掛けを心がけております。	入浴や排泄の際にはその人の気持ちに配慮し、声かけや対応の仕方にも注意しています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望を出来る限り聞き入れて日々を暮らしていただいております。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	規則正しい生活を基本にしその中でできるだけ本人の希望に添って実現できるように支援しております。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの美容院を利用したり、定期的に美容師来所し散髪や整髪を行っております。また数か月に1回衣料店へ外出し利用者様と買い物しております。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の出来る範囲で調理、食器拭き等行っております。月に数回のバイキング形式の食事や月1回デイサービスで行われる合同お食事会も楽しみの一つとなっております。	畑で野菜を育て、その調理法や干し柿づくりに利用者のこれまでの経験に基づいた力が発揮されており、また、利用者の在宅時の食習慣にも配慮して支援しています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量や水分量は把握できております。食事量や水分量が低下している利用者様には本人の好みの食べ物や飲み物を提供しております。また、主治医と相談しながら進めております。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けをし各自で行っております。また、本人や家族の希望があれば歯科受診や訪問歯科を受け入れる体制が整っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に一人ひとりの排泄状況を記録し、その人のパターンに合わせて支援しております。	トイレでの排泄を大切にしています。チェック表で状況を確認し、1人ひとりに合った対応を検討しながら支援しています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には腹部マッサージやホットパック、運動をして頂いております。また牛乳等提供しなるべく自力で排便ができるように支援しております。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本は月、水、金を入浴日としておりますが、希望する利用者様がいらっしゃればいつでも入浴を行える体制になっております。また、時々法人内のデイサービスへ行き大浴槽を使用し気分転換を図っております。浴槽に入るのが困難な方は中間浴を使用いただいております。	入浴日を決めているもののその限りではなく、希望に応じたり、デイサービスのお風呂を利用したりして個々に合わせた支援が行われています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具は自宅で使い慣れたものを持参しております。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師より処方された薬の説明を受けておりいつでも連携をとれるようになっております。また、処方変更になった場合、SNSやノートを活用し職員いつでも確認できるようにしております。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の希望や好きなことを行事に盛り込み、楽しみが持てるようにしております。(レクリエーションやドライブ、買い物等)日常の中で家事仕事の役割を持つ利用者様もいらっしゃいます。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は買い物、ドライブ、地域の行事参加するなど出かけられるようにしております。	散歩や地域行事に出かけるのは勿論のこと、外食を兼ねて普段は行けないような場所にも出かけて、利用者が戸外で生き生きと楽しく過ごせる支援が行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人、家族の希望一人ひとりの対応方法があります。買い物の際は自分で所持している人はもちろんのこと、立て替えでも自分でレジで支払いができるような場面作りを行っております。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族が遠方に住んでいるなど、なかなか会えないケースやその都度訴えがある場合などは電話利用をしております。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間内でも一人ひとりが気持ちよく過ごせるように小上がりやソファーを用いた空間作りをしております。夜間、朝方等廊下の足音や光の調整、調理の際の冷蔵庫の開閉音等気を付けております。また、季節にあった温度・湿度調整や換気に配慮しております。	廊下は広く、天窓からの採光が確保され、明るく開放感のある造りとなっています。温度、湿度を管理し、過ごしやすい環境となるよう配慮しています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事以外はリビングや居室等利用者様それぞれが好きな場所で自由に過ごせるようにしております。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのベッドもあるが、希望があれば自宅で使用していたものを持参してもらっております。また、本人の状態にあわせて畳に布団を敷いて寝てもらっております。本人が自宅で使っていたものの中で必要なものは持参しております。	私物等の持ち込みを制限せず、家族と相談しながら、また、本人の思いに沿って生活できるよう居室づくりをしています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見やすい大きい時計や暦を置き、トイレもわかりやすいよう大きな字で印を書き間違いや混乱が無い様にしております。		